

高野新聞

Vol.86



たかの
高野 たけし

無所属 44歳

逗子市議会議員（4期）

- ・教育民生常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員
- ・都市計画審議会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

平成29年第1回定例会において、市長より平成29年度の予算案が示されました。

予算案の総額は376億8,420万円（一般会計：192億5,900万円、特別会計：184億2,520万円）となっています。

◆義務的経費が予算を圧迫

近年、厳しい財政状況が続いていますが、その要因の一つは義務的経費、特に社会保障などに充てられる扶助費の増加であると言えますが、これは社会状況、人口動態の変化に伴うものと考えられます。

そのため、今後政策的予算を確保するためには、事業の必要性、継続性を再検証し、事業の取捨選択を行っていく必要があります。

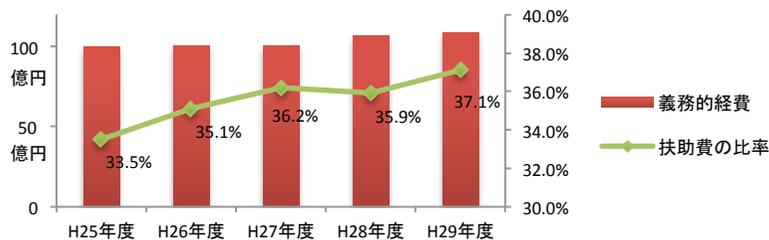
また、人口減少に歯止めをかけるべく、転入促進策を加速させ、生産年齢人口の維持に努めていくことも重要な課題となってきます。

【一般会計と義務的経費の推移】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般会計	20,532,329	18,046,311	18,445,229	19,693,684	19,259,000
義務的経費	9,969,817	10,043,736	10,023,369	10,654,617	10,874,659

(単位：千円)

【義務的経費の推移と義務的経費に占める扶助費の割合】



※平成25年度～27年度は決算ベース、平成28年度～29年度は当初予算ベース

政治資金の残り

あと 84,076円

(12/1～2/28の内訳)

支出…ポスター掲示用両面テープ

3,522円

こうした財政状況を勘案し、住みやすいまちづくりを念頭に政策提言を行ってきた結果、いくつかの事業が平成29年度予算に反映されましたので、一部ご報告します。

◆市民目線で事務事業の改善

平成28年度に行われなかった『事務事業総点検』の再開を求めてきましたが、形を変えて実施されることになりました。

平成29年度から始まる『市民による事務事業チェック』では、無作為抽出で選ばれた市民(60人程度)を6チームに分け、それぞれ担当する事業(3事業程度)の必要性、妥当性などを検証してもらう作りとなっています。対象事業は、事業の継続年数、規模、議会からの指摘などを踏まえ選択していくとのこと。

この事務事業チェックで出された結果においては、まちづくりトークなどの場でより多くの市民意見を聴取したのち、事業査定にかけ、翌年度以降の改善に向けた検討がなされることになっています。

◆追加整備で待機者解消!!

利用待機者の特に多かったJR逗子駅西駐輪場の整備を求めてきましたが、駐輪台数を増やすことが決まりました。

現在ある建物の横の市有地を活用し、新たに98台の駐輪施設を整備することになります。早ければ夏頃には完成する見通しとなっています。

◆ICT環境の充実に向けて

特別支援学級の未整備校、及び普通学級へのタブレット端末の導入を提言してきましたが、特別支援学級の未整備校4校への導入が決まりました。

各小中学校への無線LANの整備と普通学級への導入に関しては、予算やインフラ面でのハードルは残っていますが、実現に向け引き続き取り組んでいきたいと考えています。

視察報告 ～AOI国際病院～

逗子市に総合的病院の進出を予定している、医療法人社団葵会が運営するAOI国際病院を訪問。

AOI国際病院は川崎市川崎区に位置し、診療科目は30科目、病床数は308床の病院で、救急医療から一般急性期、回復期、慢性期、緩和ケア期までのシームレスな総合医療を提供しています。



看護部長の案内で病院内を視察させていただきましたが、まず気がついたことは、病院の廊下で見慣れたストレッチャーや車イスなどが全く見当たらなかったことです。よく見ると各所に収納スペースがあり、患者さんが廊下を移動する際邪魔にならないような気配りが。



そして、各フロアにあるナースステーションの大きさにも驚きました。かなりゆとりを持って作業ができるよう作られており、室内には緊急用のエレベーターも完備。各フロアの患者さんに投与する1日分の薬もナースステーション内の薬剤室で厳重に管理されていました。

また、最新機器が備えられているICUは、通常1ベットあたり4㎡程度の広さであるのに対して6㎡と広く、十分な治療スペースが確保されていました。

病院内の廊下(上)とICU(下)

さらに、HAL(筋肉の動きから電気を拾って歩行訓練をサポートするロボット)を備えたりハビリ室や、CTを2台使って全身の3D撮影を行い血管内治療を施すアンギオ室なども見学させていただきました。



今回、逗子市への進出を予定している医療法人が運営する病院を視察させていただいたことで、どのような病院運営がなされているのか知ることができ少し安心したところです。

今後も近隣住民をはじめ市民の皆様理解を得ることはもちろん、病床数の確保、さらには医師の確保という大きなハードルが残っていますが、地元医師会とも連携を図りながら、地域医療を支える総合的病院として開設されることを期待しています。

Topics

◆逗葉新道の無料化を要請

平成28年第4回定例会において、『逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書』を全会一致で可決したことに伴い、神奈川県庁を訪問し、浅羽副知事に意見書を提出させていただきました。

横須賀市の湘南国際村から葉山町の長柄地区に抜ける三浦半島中央道が開通して国道134号線の渋滞は緩和されましたが、葉山側出口に位置する逗葉新道が有料のため、同道路の利用者が一般道を迂回することで、以前より逗子市内の渋滞は増えたのではないとも言われています。

また、2020年に開催される東京オリンピックのセーリング競技会場が江ノ島に決定したこともあり、今後ますますこの地域の交通量が増えるものと予想されることから、逗葉新道の無料化は多くの市民が望んでいるものと考えられます。

しかしながら、逗葉新道は横須賀市の本町山中有料道路や三浦縦貫道路のように、建設にかかった費用の償還後無料開放を予定して造られていないため、無料化をするには道路用地を神奈川県が道路公社から買い取り県道とする必要があります。

さらに、一般道路となった後は、現在通行料でまかなっている維持管理経費や環境対策費を県の予算から捻出しなければならなくなるとのこと。

無料化までには多くの課題が残されていますが、実現に向け引き続き活動していきたいと思えます。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp